



S I H D

当行の人材紹介業務について

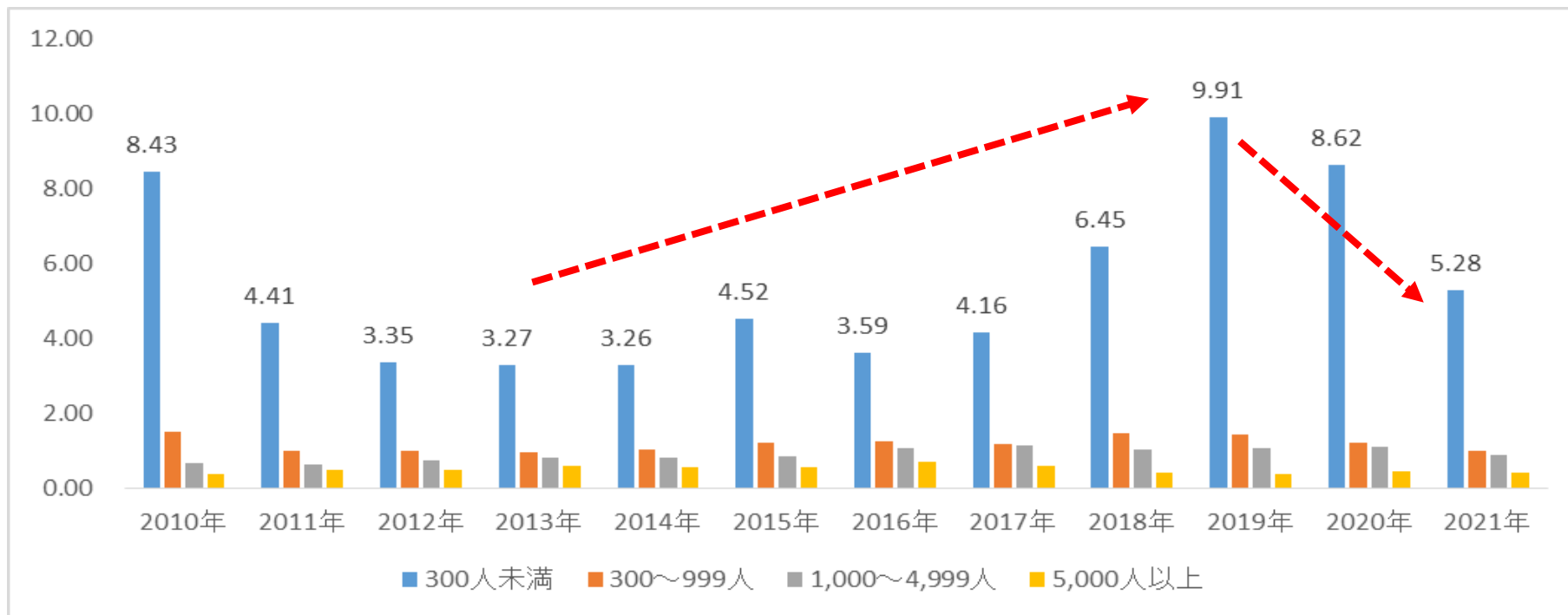
2021年9月13日

池田泉州銀行

- **企業の人手不足の現状**
- **職業紹介業務を開始するまでの経緯と現在**
- **外国人材ニーズへの対応**
- **大企業モデルの取組強化**
- **先導的人材マッチング事業**
- **地域企業経営人材マッチング促進事業**

企業の人手不足の現状① (企業規模別の求人倍率)

コロナ以前は中小企業の大卒求人倍率は右肩上がりで人手不足が深刻、コロナ以降は経済停滞により低下傾向、全体と比べてまだまだ人手不足の状況は変わらない



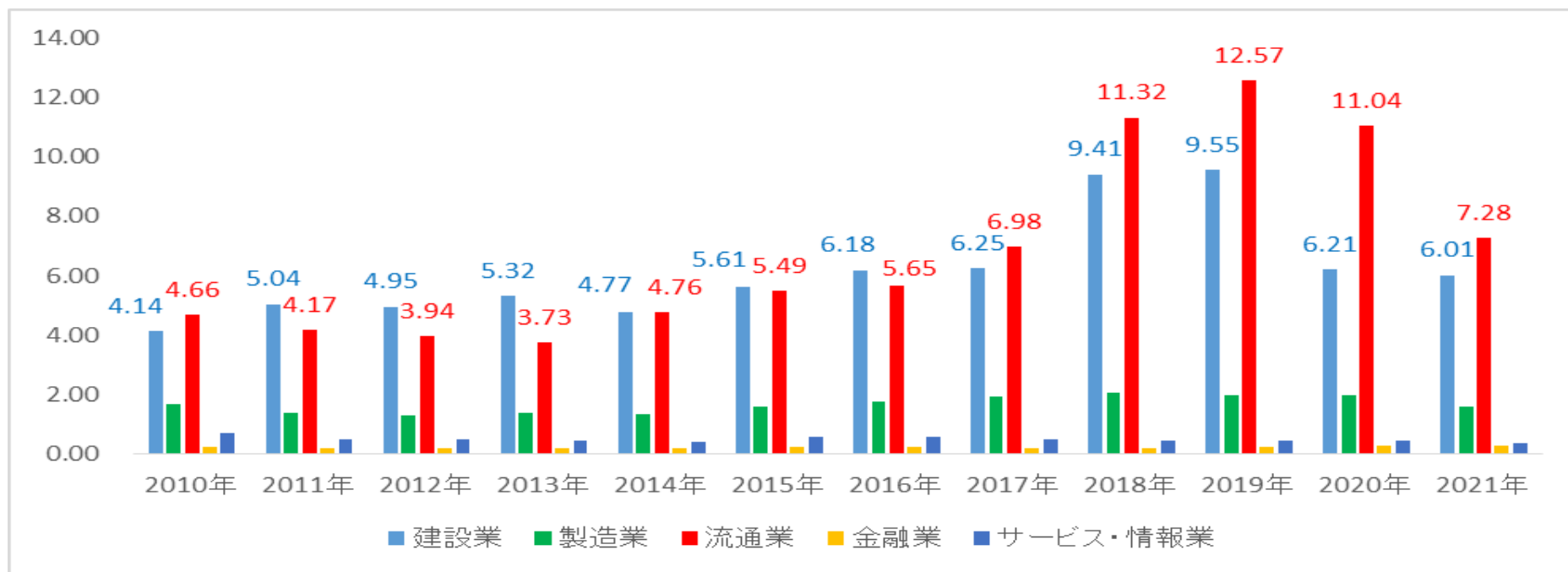
(単位：倍)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
300人未満	8.43	4.41	3.35	3.27	3.26	4.52	3.59	4.16	6.45	9.91	8.62	5.28
300～999人	1.51	1.00	0.97	0.93	1.03	1.19	1.23	1.17	1.45	1.43	1.22	0.98
1,000～4,999人	0.66	0.63	0.74	0.81	0.79	0.84	1.06	1.12	1.02	1.04	1.08	0.89
5,000人以上	0.38	0.47	0.49	0.60	0.54	0.55	0.70	0.59	0.39	0.37	0.42	0.41

出所：リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

企業の人手不足の現状② (業種別の求人倍率)

他の業種と比較して、特に「建設業・流通業」の求人倍率は深刻な状況



(単位：倍)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
建設業	4.14	5.04	4.95	5.32	4.77	5.61	6.18	6.25	9.41	9.55	6.21	6.01
製造業	1.66	1.35	1.27	1.37	1.31	1.59	1.73	1.93	2.04	1.97	1.97	1.60
流通業	4.66	4.17	3.94	3.73	4.76	5.49	5.65	6.98	11.32	12.57	11.04	7.28
金融業	0.21	0.20	0.19	0.19	0.18	0.22	0.23	0.19	0.19	0.21	0.28	0.28
サービス・情報業	0.67	0.48	0.47	0.42	0.41	0.54	0.56	0.49	0.44	0.45	0.43	0.34

※流通業とは主にスーパーマーケット、百貨店など小売業のこと

出所：リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

職業紹介業務を開始するまでの経緯と現在①

【目的】 有料職業紹介事業への新規参入により、「雇用サポート業務」の収益力強化を図るもの

外部環境の変化

- | | |
|------------------|--|
| 2012年
(平成24年) | ➤ 学生の就職難が社会問題に |
| 2015年
(平成27年) | ➤ 建設業・流通業・製造業など人手不足が顕著に |
| 2017年
(平成29年) | ➤ 中小企業の人手不足が深刻化
➤ 外国人技能実習生対象業種に「介護」が追加（11月） |
| 2018年
(平成30年) | ➤ 新たな「外国人在留資格」新設方針の公表（6月）
➤ 「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」が改正され、金融機関業務の付随業務に「人材紹介業務」が明記（3月） |
| 2019年
(令和元年) | ➤ 大手企業出身者のセカンドキャリア構築が活発化 |
| 2020年
(令和2年) | ➤ 国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策が閣議決定（例：地方への人の流れの促進など活力ある地方創り） |

当行の取組み

<雇用サポート業務開始>

- 「合同企業説明会」の提供開始（7月）
- 「ものづくり合同企業説明会」を提供開始（2016年3月）
- 「大手人材会社」とビジネスマッチング契約締結（7月）
- 「外国人材活用セミナー」開催（10月）
- 「外国人技能実習生受入機関」と
ビジネスマッチング契約締結（3月）
- 「ドリームマッチジョブフェア2018」開催（7月）
- 「外国人留学生合同説明会」開催（11月）
- 「有料職業紹介事業」開始
- 「外国人留学生合同面接会」開催（9月）
- 大企業出身者と取引先を繋ぐ大企業モデルの取組強化
- 地域企業の経営幹部等の人材を確保し、地域企業の成長や生産性向上の実現を目指す「先導的人材マッチング事業」
- REVICによる「地域企業経営人材マッチング促進事業」

職業紹介業務を開始するまでの経緯と現在②

■ 合同企業説明会開催実績

	実施回数	出展企業数 (内当行枠)	学生参加人数	内定(採用)実績 当行枠調査
2012年度 (平成24年)	1回	50社 (-)	350名	6名
2013年度 (平成25年)	3回	559社 (111社)	4,505名	31名
2014年度 (平成26年)	5回	339社 (144社)	1,904名	39名
2015年度 (平成27年)	9回	464社 (279社)	2,637名	50名
2016年度 (平成28年)	8回	265社 (199社)	1,150名	39名
2017年度 (平成29年)	10回	392社 (251社)	1,440名	53名
2018年度 (平成30年)	8回	265社 (163社)	581名	11名
2019年度 (令和元年)	9回	310社 (174社)	1,352名	26名
2020年度 (令和2年)	1回	98社 (34社)	269名	0名

職業紹介業務を開始するまでの経緯と現在③

大阪府との共同主催による合同企業説明会「ドリームマッチジョブフェア2018」を開催

大阪府 × 池田泉州銀行~presents~

ドリームマッチジョブフェア2018

参加企業 募集

開催概要

多くの就職活動中の若者との“夢や感動の出会い”
池田泉州銀行と連携した合同企業説明会「ドリームマッチジョブフェア2018」を開催します！
求職活動中の学生・若者500人（予定）に対して、「産・官・金」が一体となって地域中小企業のための人材支援の場を創出いたします。また、今年から雇用求人サイトを活用した合同企業説明会参加後の継続したマッチングが可能となりました！このイベントを活用して、貴社の“魅力”を充分に発信してください！

【日時】 2018年7月24日（火） 11:00～17:00（予定）
【会場】 ハービスホール（大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA B2F）
【参加企業】 100社（予定）
【参加対象】 概ね39歳以下の若年求職者（■学生 ■第二新卒 ■若者等）
（目標動員数 500人）

募集対象企業（必須項目）

大阪府内に事業所があり、かつその事業所で人材の募集をしている中小企業様のうち

- ① 正社員での求人募集があること（パート・アルバイト、契約社員等不可）
- ② イベント当日、QRコード読取可能な端末（スマホやタブレット等）をご用意いただけること
→ 裏面「WEBエントリー（個人情報取得）システムについて」参照。
- ③ 求職者向けの企業情報を掲載するアプリ等に必要の情報提供にご協力いただけること
- ④ 「平成30年度中小企業人材マッチング支援事業」へご登録していただけること
- ⑤ 出展料 108,000円（税込）をご負担いただけること
- ⑥ 事前説明会（7月3日）へご参加いただけること
- ⑦ 雇用・労働に関する法令等を遵守していること ※各項目の詳細は申込みURLをご確認ください

実施までのフロー（予定）

申込締切 6月15日 → 企業確定 6月22日 → 企業公開 6月29日 → 事前説明会 7月3日 → 当日 7月24日 → 求人サイト掲載 8月以降 → 採用状況調査

申込み方法

下記URLより詳細をご確認いただき、必要事項を入力の上、お申込みください。
<http://osakajobfair.com/company/eventsite/h30-wakamono.php>

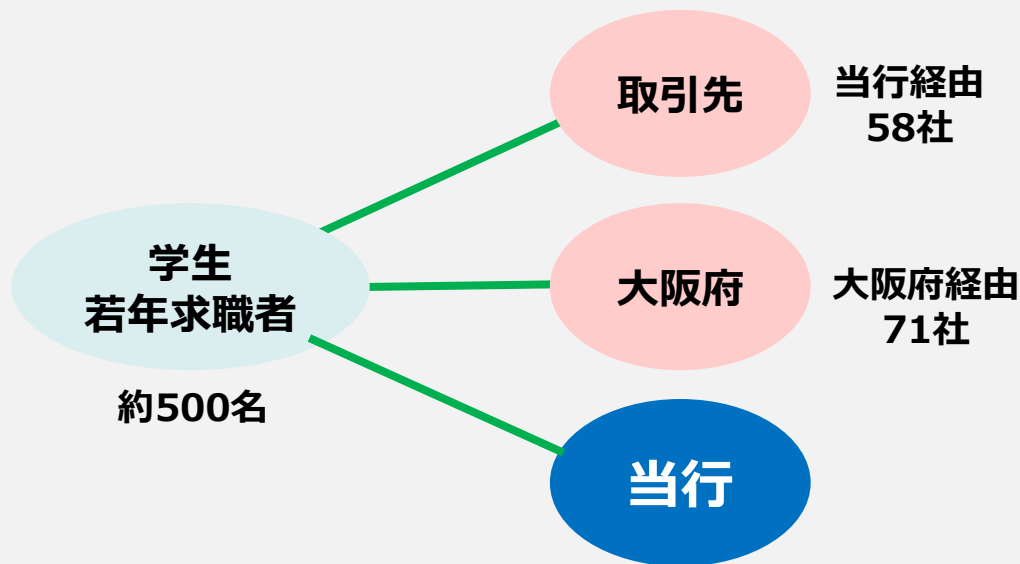
お申込みにはOSAKAジョブフェアへの会員登録（無料）が必要です。
※登録情報等を考慮の上、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
※結果に関するご連絡は、登録いただいた担当者メールアドレス宛にお送りいたします。

主催・運営（予定）

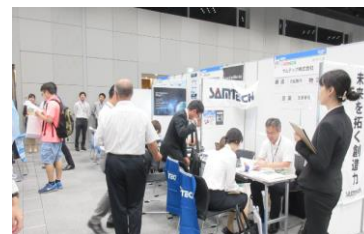
【主催】 池田泉州銀行
大阪府【地方創生推進交付金事業】平成30年度 中小企業人材マッチング支援事業、OSAKAしごとフィールド運営委託事業、平成30年度OSAKAしごとフィールド中小企業の人材確保支援事業
【運営】 一般財団法人大阪労働協会

裏面に続く

【産・官・金の一体となった地域の雇用創出】



当日のセミナー



出展企業ブース



学生との面接

2018年
日経新聞より

中小企業の人手不足解消支援に取り組む主な地銀

職業紹介事業の許可を取得	
横浜銀行	10月に許可を取得。人材紹介6社と提携。将来的に自前での紹介も検討
池田泉州銀行	11月に許可を取得。人材紹介会社と連携し自ら求人票も作成。業務効率化も
北洋銀行	日本人材機構と設立した共同出資会社が9月に許可を取得。業務効率化や人材紹介に取り組む
西日本フィナンシャルホールディングス	傘下企業が来春の事業開始に向けて許可を取得予定。九州地銀では初の事例
人材紹介会社と提携	
秋田銀行	パーソルHDと提携。取引先企業にパーソルの人材派遣や人材紹介を仲介
みちのく銀行	提携したヒューレックスグループ3社を通じて幹部人材や専門人材などの採用を支援
佐賀銀行	パーソルHDと提携。取引先企業にパーソルの人材派遣や人材紹介を仲介
青森銀行	提携した日本人材機構を通じて幹部人材や専門人材などの採用を支援

人手不足の解消 地銀が中小支援

池田泉州銀など紹介業参入へ

融資増へ地域密着一段と

人手不足が中小企業の深刻な経営課題となるなか、全国の地銀が支援を強化する。規制緩和で地銀が人材紹介業を手掛けられるようになり、参入が相次ぐ見通しだ。大阪地盤の池田泉州銀行は12月から業務を始める。地銀は地元企業に密着しながら人材ニーズを把握し、手数料収入につなげる。成長の制約要因となる企業の人手不足を解消し、中長期的に融資を伸ばす狙いもある。

「来春まで確保できた内定者は1人だけ」。高校の新卒を毎年3人採用してきた兵庫県の中小製造業の幹部は嘆く。売り手市場のなか、応募は例年の半分以下に減った。「中途採用での補充も難しい」という。

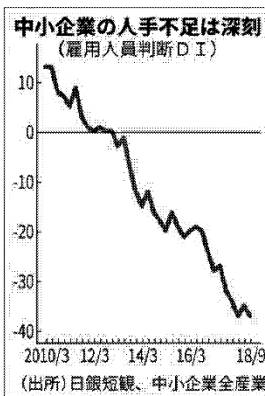
9月の全国企業短期経済観測調査（短観）で、人手不足を示す雇用人員判断DIは中小企業全産業でマイナス37。3月に続き約26年ぶりの水準だ。日本経済新聞が実施した今秋の「地域経済500調査」でも、従業員

「融資よりも人を連れてきてほしい」と言われる経営者の本音や事業の詳細を踏まえて人材紹介会社と交渉できるほか、地銀自らが人材紹介もできる。

池田泉州銀行は12月3日から本店に担当者3人が寄せられたという。年間1000〜1200人程度の紹介を目指す。今後は人材紹介会社を通さずに白前で手掛けることも検討する。

顧客企業が人材紹介会社に支払う手数料のうち一部を地銀側が受け取るため、顧客に追加の費用負担は生じない。

地銀の経営環境が厳しくなるなか、貸し出しの量を確保するため、より低利での感度融資に取り組み地銀も多い。ただ、貸出金利の引き下げは限界に近づきつつある。「日



ごろ付き合ひのある地銀が業務効率化も含め人手不足対策の支援をしてくれるのはありがたい」と期待する中小企業の経営者は多い。今後は人材紹介を含む成長支援策の中心でどれだけ差別化できるかが問われる。

(中谷正吉、佐藤初姫)

外国人材ニーズへの対応①

実施日	内容
2018年8月21日	「外国人留学生採用セミナー」開催（協力：エール学園） 参加企業94社 参加者115名
2018年11月7日	「外国人留学生合同企業説明会」開催（共催：エール学園） 出展企業31社、外国人留学生231名が参加
2019年3月19日	「外国人材活用セミナー」開催（協力：法務省入国管理局、森興産株式会社） 参加企業74社 参加者104名
2019年4月1日	外国人留学生を対象とした有料職業紹介業務を開始（森興産株式会社との協働スキーム） 面接時の言語サポート、在留資格変更サポート、入社前教育、定着フォローなどの支援体制を整備
2019年9月26日	「外国人留学生合同企業面接会」開催 （協力：エール学園 大阪労働局） 出展企業32社、外国人留学生221名が参加
2020年7月15日	「留学生採用フォローアップWEBセミナー」開催（共催：森興産） 参加企業19社（当行採用支援による外国人材採用企業）
2020年7月22日	「外国人材採用戦略WEBセミナー」開催（共催：森興産） 参加企業31社
2020年11月7日	「外国人留学生WEB面接会」開催（共催：森興産） 参加企業15社、外国人留学生41名が参加

外国人材ニーズへの対応②

外国人留学生の採用ニーズがある取引先に対して、合同企業説明会及び**合同企業面接会**を開催

外国人留学生合同企業面接会

出展企業
募集

外国人留学生の採用活動をより円滑に行えるよう支援します

■本イベントの特徴

- ・事前に出展企業さまの求人票に基づいて、留学生に周知し候補者を選定します
- ・対象となる留学生と効率的に面接できるようスケジュール調整します
- ・当日参加の留学生についても、求人票専攻科目等を勘案し引合せを行います
- ・予定していた留学生と面接が出来なかった場合、後日の面接設定をフォローします

開催概要

- 【日時】2019年9月26日(木) 13:00~17:00 (面接会)
- 【会場】難波御堂筋ホール
(大阪市中央区難波4-2-1 難波御堂筋ビルディング10F)
- 【定員】30社程度(予定) ※先着順
- 【参加対象】2020年3月、9月 大学・専門学校等 新規卒業予定者
- 【セミナー講演】大阪出入国在留管理局：在留資格(特定技能)について
11:00~12:00(セミナー)

※詳細は申込書をご参照ください。

募集対象企業

- ① 外国人留学生の採用ニーズがあること
- ② 雇用・労働に関する法令等を遵守していること

申込方法

裏面の「出展申込書」に必要事項をご記入の上、池田泉州銀行 リレーション推進部まで「E-mail」または「FAX」でお送りください。

【E-mail】relation@sihd-bk.jp 【FAX番号】06-6375-3983

申込締切

2019年7月31日(水)

主催・後援

【主催】株式会社 池田泉州銀行、森興産 株式会社
【協力】大阪府産業・学校法人 森学園

アクセス

- 難波御堂筋ホール
- 難波御堂筋ビルディング 10階
- 地下鉄御堂筋線なんば駅13番出口直結
- ※駐車場はございません。公共交通機関をご利用下さい。



※ 森興産(株)との連携

1987年設立、大阪に本社を有し、留学生向け企業説明会などイベント運営等を手掛ける企業

【求人企業】 取引先 32社

- 留学生のモチベーションの高さ、やる気に関して非常に満足
- 理系人材が少なかったのが残念
- 在留資格やビザに関するフォローをお願いしたい

【求職者】 留学生 221名

- 参加者221名のうち、大学生が約40%、専門学生が約60%
- 文系は約80%、理系は約20%
- 国籍ではベトナム約60%、中国約20%、他(ネパール、タイ、インドネシア)
- 男性は約55%、女性約45%

293件の面接が実施され、その内23名の採用に繋がる

※23名のうち、約80%が日本語検定2級レベル

【POINT】

- 説明会 → 面接会 → 入社後のフォローを一気通貫で対応
- 外国人を採用する際のポイントを一番良く知る「森興産」との連携
- 森興産の広大な外国人留学生ネットワークを活用 (WA.SA.BI)

外国人留学生向けコミュニティサイト「WA.SA.Bi.」（関西圏を中心に約5,500名の留学生が登録）



外国人材ニーズへの対応④

外国人合同企業面接会を評価頂き、内閣府から表彰を受けました

～内閣府から表彰～ 地方創生に資する取組みが評価されました

株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）は、「外国人留学生面接会」を開催した取組みが、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が公表する「令和2年度 地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例」に選定され、坂本内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰を受けましたので、お知らせいたします。

「外国人留学生面接会」は、「将来の海外戦略を担う人材や、外国人社員の管理者となる人材等を、中長期的な目線で採用したい」という地元企業のニーズにお応えすべく開催したもので、地方創生に資する取組みであるとして評価いただきました。

株式会社池田泉州銀行は、今後も地元企業への積極的な人材サポート等を通じ、地域経済の発展ならびに地方創生に寄与してまいります。

記

【表彰について】

表彰名	令和2年度 地方創生に資する金融機関等の特徴的な取組事例
表彰の概要	本表彰は、全国の金融機関から報告された地方創生に資する取組事例のうち、先駆性のある事例等が評価され、内閣府特命担当大臣より授与されるものです。
表彰日	2021年3月30日
表彰形式	オンライン表彰式（Zoom）

【受賞概要】

名称	外国人留学生面接会
開催日	2019年9月26日
取組みの内容	<ul style="list-style-type: none">海外展開や外国人需要の取り込み、外国人社員の管理者確保等を希望する地元中小企業の成長支援を目的として、外国人留学生を対象とした面接会を開催致しました。単なる人材マッチングだけでなく、就労ビザの取得支援や入社後の定着支援等、一貫した伴走型の取組みを行うことで、地元中小企業に対する外国人留学生の採用・定着を支援したものです。企業32社、留学生221名が参加し、293件の個別面接を実施した結果、2020年4月には18社に対し23名が入社されました。
実施主体	【主催】株式会社池田泉州銀行、森興産株式会社

【表彰状】



- 大手企業の人材最適化（早期退職）活発化⇒セカンドキャリアの構築⇒**大企業出身者の再就職支援活況**
- 限られた人員で最大効果を生む体制に整え、**大企業モデルの取組強化**を図る

池田泉州銀行

人材紹介深掘り

「自ら発掘し橋渡し」も開始

池田泉州銀行が人材紹介「バーの拡張」に、人材採用事業を深掘りしている。中ではハローワークとのやり取りから求職者の人財を掘り出し、そこから入社試験の別冊制作して専門事業者につなぐなど、面接まですべて自らが担当する。自ら人財を発掘し、紹介している。

大手の社員を中小に誘致。それが激増した。自ら体しする事業も始めた。新型コロナで顧客が減少している。コロナウイルスで顧客が減少している。認定を取得、生体認証に関する事業と人財の見直しを進めている。独自の社内資格制度に力を入れている。地域で人を確保することも取り組む。推進役が2019年8月に入社した近藤正樹は池田泉州銀行の社長である。池田泉州銀行が契約していた大手電機メーカーから転職し、「いい会社です」と、池田泉州銀行の求人に応じた。池田泉州銀行は同様に地元の付加価値を高める。

「自分も働いたら会社が回る」と不安だった。池田泉州銀行の求人に応じた。池田泉州銀行は同様に地元の付加価値を高める。

池田泉州銀行は同様に地元の付加価値を高める。

「地元企業間転職のハブに」



近藤社長は大手電機メーカーから建築化工に転職した（大阪市）

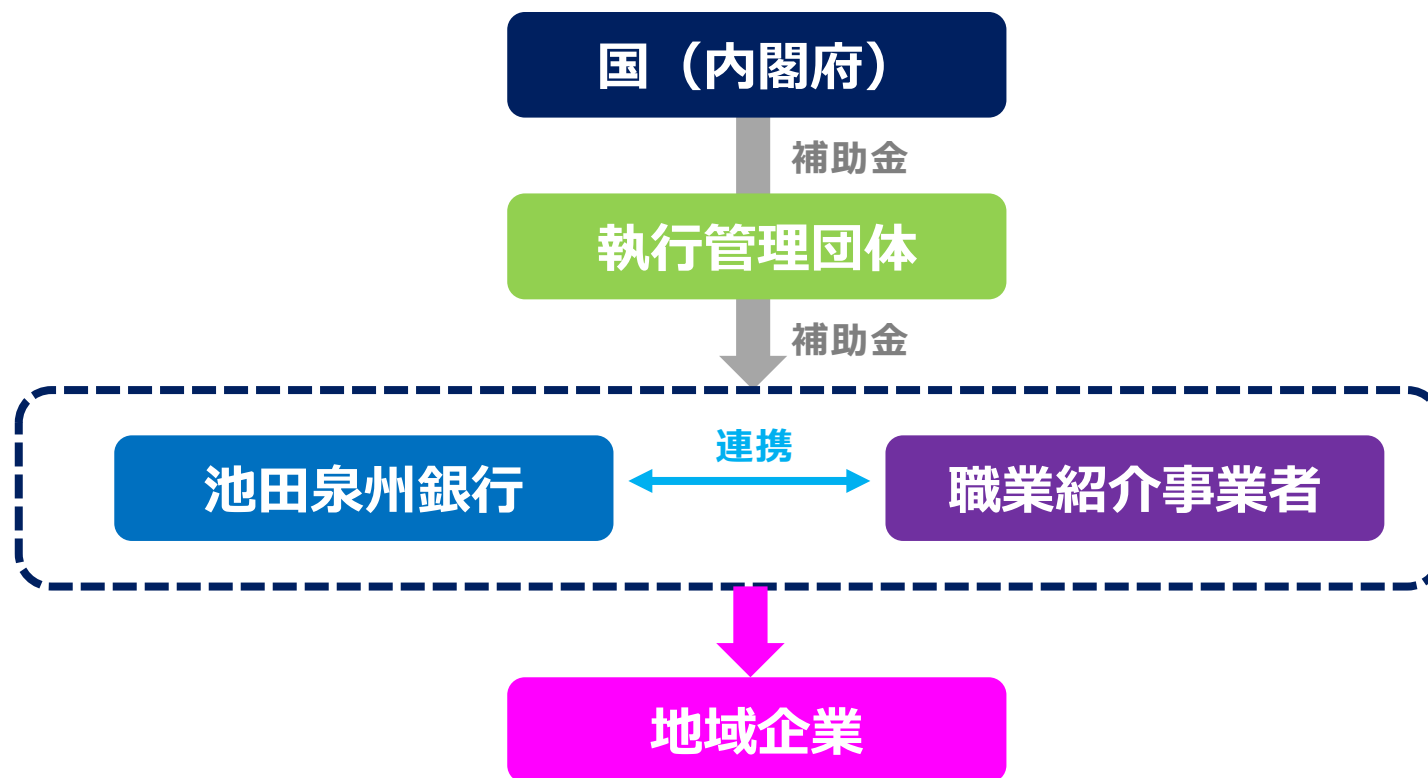
池田泉州銀行は同様に地元の付加価値を高める。

2021年1月9日
日経新聞より

池田泉州銀行は同様に地元の付加価値を高める。

先導的人材マッチング事業

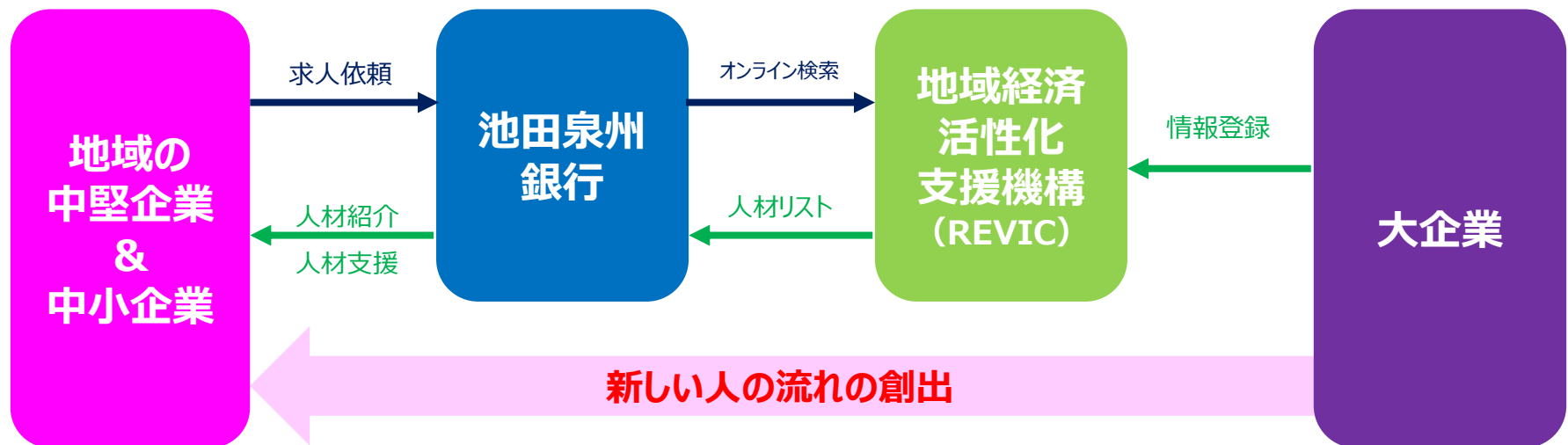
- 内閣府地方創生推進室主導の「第2期『まち・ひと・しごと創生総合戦略』において盛り込まれた「地域人材支援戦略パッケージ」の一環として、地域金融機関によるハイレベルな経営人材等のマッチングを行う取組に対して支援を行うもの（補助金予算上限額10億円）
- 地域企業の経営幹部や経営課題解決に必要な専門人材を確保し、地域企業の成長・生産性向上の実現を目指す
- 地域金融機関等が、地域企業の経営課題や人材ニーズを調査・分析し、地域金融機関等が職業紹介事業者等と連携して行う人材マッチング事業（地域人材支援事業）を支援する



地域企業経営人材マッチング促進事業

- 大企業から地域の中堅・中小企業への人の流れを創出し、地域企業の経営人材確保を支援するため、地域経済活性化支援機構（REVIC）に人材リストを整備し、地域金融機関等による人材マッチングを推進する（補助金予算約30億円）
- 人材リストを活用して経営人材を獲得した地域企業に対し、REVICから一定額を補助
- 大企業人材に、地域の実情や中小企業の経営の実態を事前に理解してもらうための機会（研修・ワークショップ）の提供や先行例・優良事例の広報を実施

【人材マッチングのスキーム】



終